



オービックシーガルズ通信

ライスボウルを制し日本一達成 参戦・応援ありがとうございました

12月にJAPANNXBOWLを制して社会人日本一に返り咲いたオービックシーガルズ。7年ぶりに大学日本一チームとの日本一決定戦であるライスボウルへの出場権を獲得し、1/3(日)東京ドームにて、関西学院大学ファイターズと対戦しました。

試合開始直後、関西学院大学に先制を許しましたが、その後の攻撃ですぐにオービックシーガルズが逆転。その後も関西学院大学の戦略的なプレーが続ぎ、前半終了時は14-12と拮抗した展開でしたが、後半に入るとオービックシーガルズの攻撃がフィットしはじめ、後半だけで3本のタッチダウンを獲得。守備でも自陣に攻め込まれたところをインナーセプトして相手の攻撃の芽を摘む

など、ナイスプレーが続ぎ、終わってみれば35-18と、しつかり得点差をつけて勝利することができました。これで7年ぶりに日本一に返り咲き、過去最多8度目の日本一達成となりました。

2020シーズンは新型コロナウイルスによるイレギュラー続きのシーズンとなりましたが、まずはこうして無事に、ライスボウルをはじめとする大会の開催にご尽力くださった関係者の皆さまに感謝いたします。また、しばらく優勝から遠ざかっていたオービックシーガルズを信じて応援し続けてくださった皆さま、このコロナ禍でも試合会場に参戦くださった皆さま、そしてテレビなどを通じて応援してくださった皆さま、本当にありがとうございました。

これにて2020シーズンは終了し、選手たちはしばしのオフを取った後、3月より新シーズンがスタートします。2020シーズンの優勝に満足することなく、2021シーズンの連覇を目指してチーム一同邁進しますので、引き続きご声援よろしく申し上げます。

★優勝報告会を開催しました

1/9(土)、新習志野駅前ミスターマックス2F(スポーツクラブVITABASE前)にて、優勝報告会を実施しました。あいにく新型コロナウイルスによる緊急事態宣言が発出されたため、地村主将はじめとする選手数名が登壇、他の選手たちはオンラインで繋ぎながら、インターネットライブ配信にて実施しました。チームとしては初の試みとなりましたが、和やかな雰囲気の中無事開催できました。こちらの報告会は、オービックシーガルズのYouTubeページにて録画をご覧いただくことができます。ぜひこちらからご覧ください。

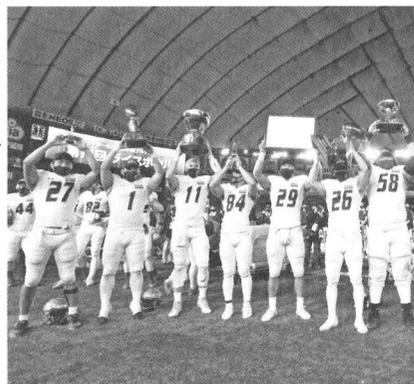


YouTube【見逃し配信】
2020シーズン
オービックシーガルズ
優勝報告会

▶優勝報告会に登壇した
大橋HCと選手たち



習志野市茜浜を拠点に活動する社会人アメリカンフットボールのクラブチーム「オービックシーガルズ」は、ライスボウル(日本選手権)で8度の日本一を果たし、さらなる高みを目指しています。また地域の学校訪問などのホームタウン活動にも力を入れています。



▲ライスボウル優勝トロフィーを掲げる選手たち



▲後半最初のTDを決めてMVPを獲得したWR#26野崎選手

★RB#29李卓選手、NFLへ挑戦!

RB#29李卓選手が、アメリカNFLの選手発掘プログラムである「International Pathway Program」候補として選出されました。これは世界各国から優秀な選手を発掘し、NFL選手として契約するためのプログラムで、2017年から実施されています。2020シーズンは各国から11名の選手が選抜、李選手はアジア人唯一の選手(日本人選手は初の選抜)として推薦されています。李選手は4月までアメリカでプログラムのキャンプに参加し、NFL選手として契約可能な4人の選手に選ばれることを目指します。



▲JXBではMVPを獲得した李選手。「習志野から世界へ」挑戦します。